操作説明書補足資料操作事例集②

2 自動払込み(ブラウザ受付) 同一口座から 2 件以上引き落としをする

1. 概要				
2. 方	2. 方法①:個別入力で決済データを作成する			
2.1	データを作成・登録する	P.3		
2.2	登録した決済データの内容を印刷して確認する	P.14		
3. 方法②:CSV データで決済データを一括登録する				
3.1	支払人情報追加 CSV のファイル仕様	P.15		
3.2	支払人マスタ情報の CSV データをダウンロードする	P.16		
3.3	決済データを作成するための CSV ファイルを作成する	P.18		
3.4	決済データ登録用 CSV ファイルを登録する	P.27		
3.5	登録した決済データの内容を印刷して確認する	P.33		

1. 概要

この資料では、1回の自動払込み(ブラウザ受付)で、同一口座から2件以上引き落としをするための操作方法を説明します。

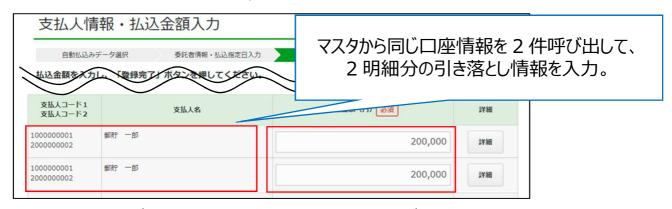
以下のようなケースで参考にしてください。

例) 親名義の1つの口座から、兄弟2人分の金額をそれぞれ引き落とすため、 2件引き落としを実施。

支払人マスタには同一支払口座の情報は1つしか登録できません。



自動払込みデータを作成するときに、次のように同一口座からの引き落とし情報 を複数件登録した決済データを作成いただく必要があります。



このような決済データの作成のために、以下のいずれかの方法を参考に操作してください。

方法①:複数件登録が必要な口座を個別入力で複数回呼び出し、

金額を手入力する。

⇒P.3~P.14

方法②:引き落としデータを CSV ファイルで作成し、外部データ入力機能を使って決済情報を一括登録する。

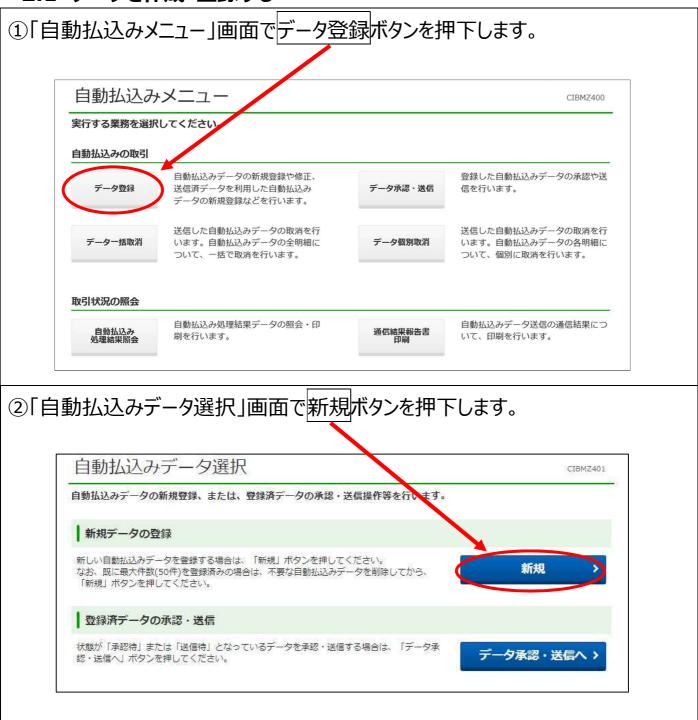
この CSV データに同一口座の引き落とし情報を複数件登録する。

⇒P.15~P.33

2. 方法①:個別入力で決済データを作成する

複数件登録が必要な口座を個別入力で呼び出し、金額を手入力します。

2.1 データを作成・登録する



③「委託者情報・払込指定日入力」画面で、提出データの委託者の選択、

日付等の必須項目を入力します。

払込みを行う支払人の検索条件を設定し、次へボタンを押下します。

※委託者情報は権限のあるもののみ表示されます。



支払人の検索方法は、以下の4種類があります。

● 全検索: 全マスタ情報を検索対象として検索・抽出します。

対象マスタ	支払人マスタ
検索条件	全検索
	対象マスタの全検索を行います。
表示順	検索用力ナ名順・

● コード:検索条件に入力されたコード 1、コード 2 と同じコードを持つマスタ情報を検索・抽出します。

対象マスタ	支払人マスタ		
	コード		
検索条件	コード1 1000000001 ~ 1000000003 半角数字10桁		
	コード 2 2000000001 ~ 2000000003 半角数字10桁		
表示順	検索用力ナ名ルマ		

●検索用カナ名:検索条件に入力されたカナ名から始まる検索用カナ名を 持つマスタ情報を検索・抽出します。

対象マスタ	支払人マスタ	
	検索用力ナ名・	
検索条件	検索用力ナ名 10チ3 (チロウ	半角30文字以内
	◎ 前方一致検索 ◎ 部分一致検索	
表示順	検索用力ナ名庫 マ	

●検索グループ:検索条件で選択されたグループに属するマスタ情報を検索・ 抽出します。

対象マスタ	支払人マスタ			
	検索グループ・			
検索条件	☑ 月初支払	☑ 月末支払	☑ 10日支払	□ 20日支払
	□ 25日支払	□ その他	□ (未設定)	□ (未設定)
表示順	検索用力ナ名# ∨			

④「支払人情報・払込金額入力」画面に、マスタから呼び出した支払人情報の 一覧が表示されます。

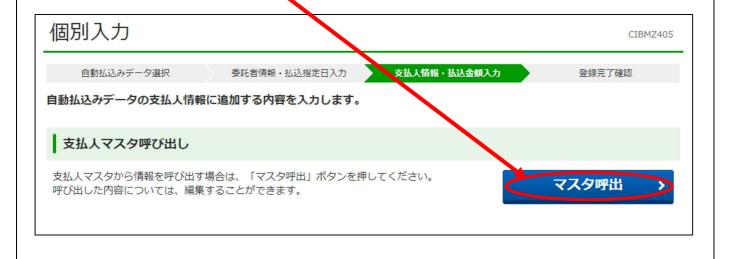
本画面で払込金額を指定できますが、この時点では各支払人情報が1つずつ しか表示されないため、複数件引き落としが必要な支払人については、次の手順 で支払人情報を追加します。



⑤「支払人情報・払込金額入力」画面で個別入力ボタンを押下します。



⑥「個別入力」画面でマスタ呼出ボタンを押下します。



⑦「支払人マスタ呼出」画面で「検索条件」を「検索用カナ名」にして、追加したい 支払人を「検索用カナ名」に半角で入力し、検索ボタンを押下します。



<検索用カナ名で検索し、複数の支払人が該当した場合> 「支払人選択」画面が表示されるため、追加したい支払人を選択して、次へボタンを押下します。



⑧検索した支払人マスタの情報が「個別入力」画面に表示されるため、表示され た内容を確認し、「払込金額」を入力して、登録ボタンを押下します。

本画面で払込情報を登録することで、同一の口座に対する引き落とし情報を 追加できます。



- ※以下の項目は引き落とし処理には使用しない項目のため、任意に変更可能です。 データ提出までの管理にご利用いただけます。

 - ・支払人漢字名・支払人コード 1、支払人コード 2
 - 検索用カナ名
 - ・検索グループ指定

【例 1 】

- ■支払人漢字名を変更する
- ・「郵貯 一郎」→「3年2組 郵貯 加奈」
- ·「郵貯 一郎」→「郵貯一郎 次女 郵貯 加奈」

【例2】

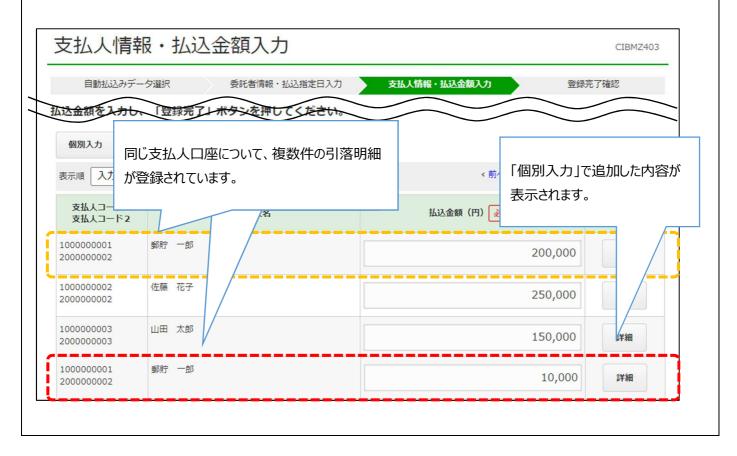
- ■支払人コードを変更する
- ·[100000001]→[1000000022]

自動払込み処理結果を照会するときは、名義は支払人力ナ名のみが表示されます。 支払人漢字名と検索用カナ名を確認することはできません。



⑩「支払人情報・払込金額入力」画面に戻ります。

「個別入力」画面で入力された情報が追加され、同一の支払人口座で複数件の明細が登録できているか、確認をしてください。





②「支払人情報・払込金額入力」画面を確認し、登録完了ボタンを押下します。 兄弟分の引き落としが必要な口座については、引き落としが必要な分だけ金額が 設定されていることを確認します。

※払込金額が0円の支払人は登録完了時に削除できます。



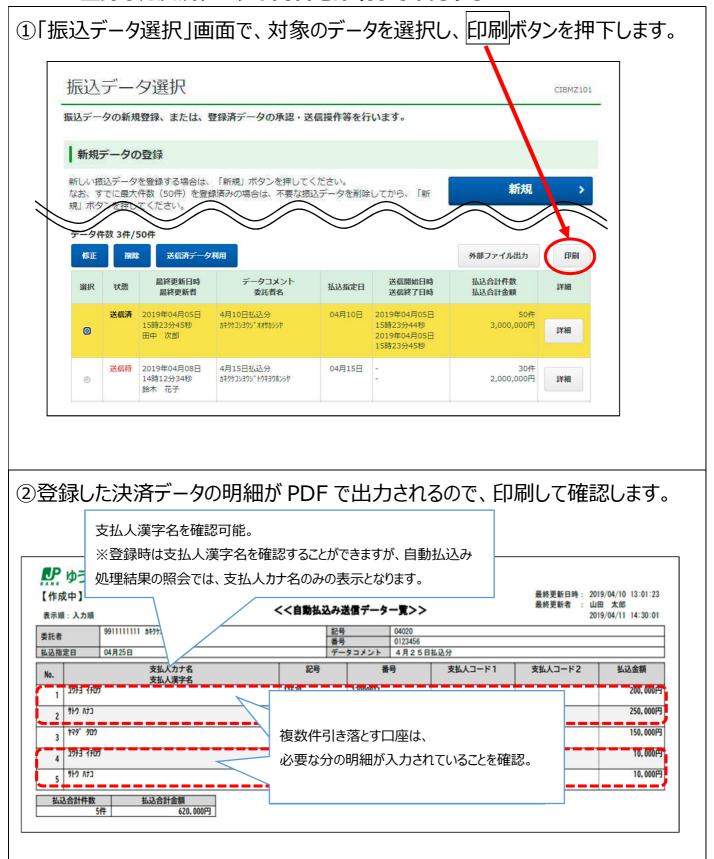
③「登録完了確認」画面でデータの内容を確認し、「承認待」を選択して確認 ボタンを押下します。

※作成途中の場合は「作成中」を選択し、確認ボタンを押下することで一時保存ができます。



※確認ボタンを押下すると、「自動払込みデータ選択」画面に戻ります。

2.2 登録した決済データの内容を印刷して確認する



以降は、「簡易版操作説明書 J 自動払込み(ブラウザ受付)」のとおり承認・ 送信作業を行います。

3. 方法②: CSV データで決済データを一括登録する

CSV データで決済データを作成し、同一口座からの引き落とし情報を複数件登録する方法を説明します。

3.1 支払人情報追加 CSV のファイル仕様

自動払込みの外部データ入力用 CSV ファイルの仕様は次のとおりです。

<ファイル仕様>

項目名	支払人コード1	支払人コード2	支払人力ナ名	払込金額
属性	数値	数值	文字列	数値
桁数	10	10	30	10
(例)	1234567890	123456789	1973 イチロウ	13000

支払人コード 1、支払人コード 2 および支払人カナ名のうち、いずれかの項目の入力が必須です。

支払人コード 1 と支払人コード 2 の両方が設定されている場合は、支払人コード 2 種の入力が必須です。

CSV ファイル内でダブルクォーテーションが 2 つ連続する ("") 場合、該当項目を省略項目として扱います。

なお、項目名を表すヘッダ行は、登録用データには作成しないでください。

※本資料の説明では、項目を分かりやすくするため、ヘッダ行を入れた状態の画像を使用しています。

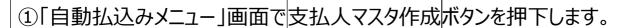
<ファイル作成の注意事項>

(2) 10 11 100-21 1013-210			
項目	注意事項		
支払人コード1	・支払人コードは、桁数が不足していても問題ありません。		
支払人コード2	桁数が不足している場合は、入力値の前に「0」が補われて検索されます。		
	・支払人カナ名だけ入力されている場合は、検索用カナ名でマスタを検索します。		
	・支払人カナ名には、カタカナの小文字(ァィゥェォャュョッ)が含まれていても問題あり		
	ませんが、登録時に、小文字は大文字(アイウエオヤユヨツ)に変換されます。		
±+/	また、長音「-」はハイフン「-」に変換されます。		
支払人カナ名 	・支払人マスタにスペースが含まれる場合は、スペースを含めて完全一致する必要が		
	あります。		
	・支払人コードを空欄とし、支払人カナ名と金額のみで登録することも可能ですが、		
	同姓同名の支払人がいた場合、該当する口座すべてに金額が設定されます。		

上記の内容で CSV データを作成する際、同一口座からの引き落とし情報を複数件登録することで、同一口座から2件以上引き落としすることができます。

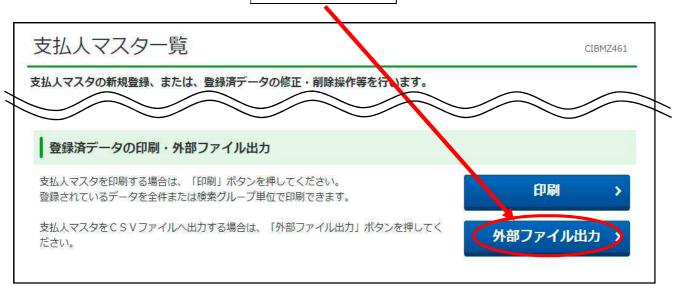
この資料では、次のページ以降、登録済みの支払人マスタ情報を CSV データでダウンロードし、加工して決済情報の CSV データを作成する方法を説明します。

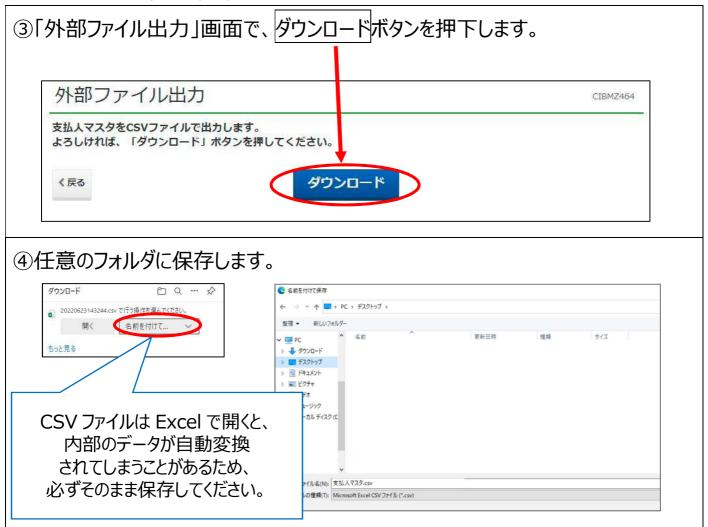
3.2 支払人マスタ情報の CSV データをダウンロードする





②「支払人マスタ一覧」画面で外部ファイル出力ボタンを押下します。





3.3 決済データを作成するための CSV ファイルを作成する

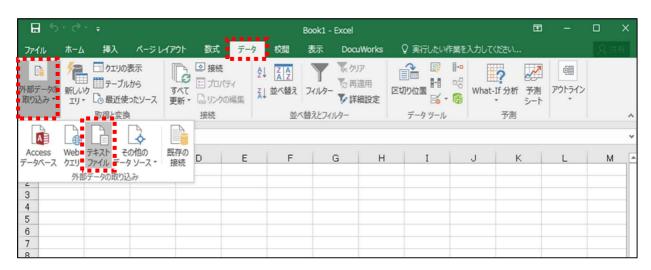
3.2 でダウンロードした CSV データを Excel で開き、決済データを作成するための CSV ファイルを作成します。

Excel で CSV ファイルを開く場合は、内部データが標準化されないよう、外部データの取り込み機能を使用してください。

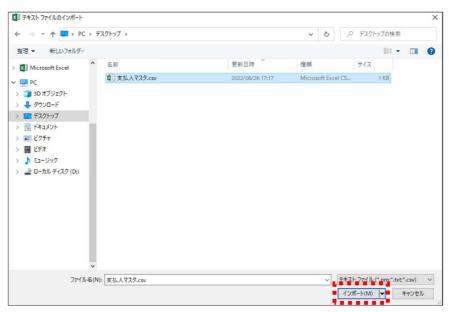
※一例として、Excel2016を使用して登録用 CSV ファイルを作成する方法を掲載しますが、 作成したデータの内容をご自身で確認できる場合のみご利用ください。

Excel の操作方法については、ゆうちょ銀行のサポート対象外です。

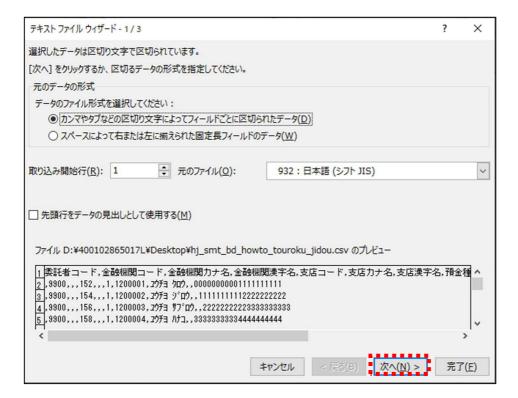
- ※必要に応じて、Webサイトに掲載の以下の資料を参考にしてください。
 - ・「マスタ登録用 CSV ファイル等の仕様および作成方法 |
 - ・詳細版操作説明書(手続き別)「63 外部データ入力のファイル仕様の確認」
- ①Excel を開き、「データ」⇒「外部データの取り込み」⇒「テキストファイル」を押下します。



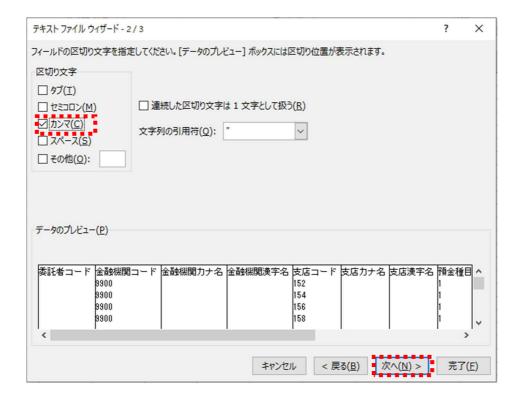
②ダウンロードした CSV データを選択し、「インポート」ボタンを押下します。



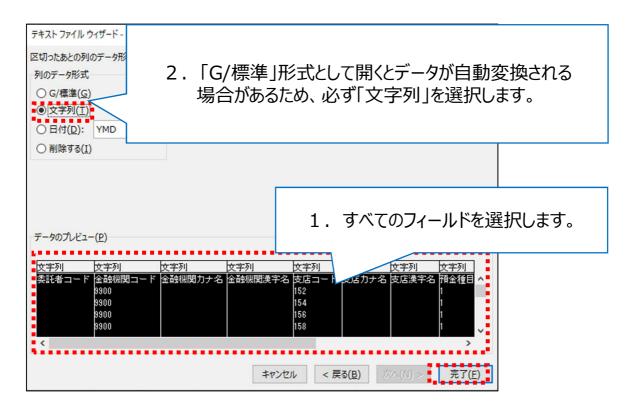
③「次へ」ボタンを押下します。



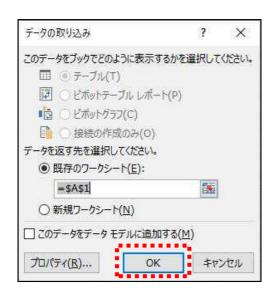
④区切り文字の「カンマ」を選択し、「次へ」ボタンを押下します。



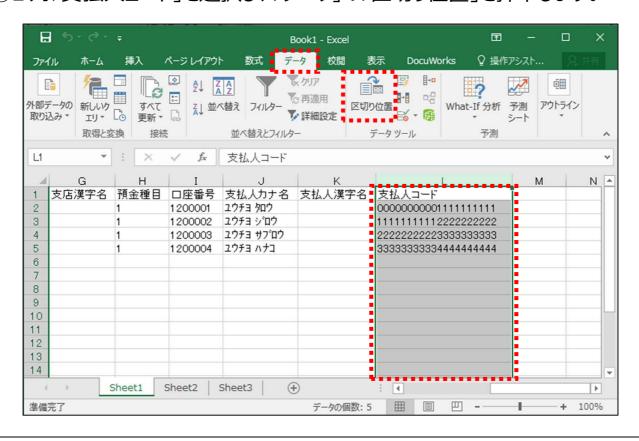
⑤データのプレビューのフィールドをすべて選択し、列のデータ形式の「文字列」を選択し、「完了」ボタンを押下します。



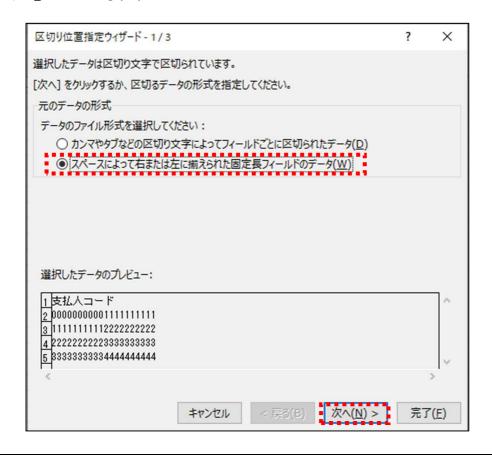
⑥「OK Iボタンを押下します。



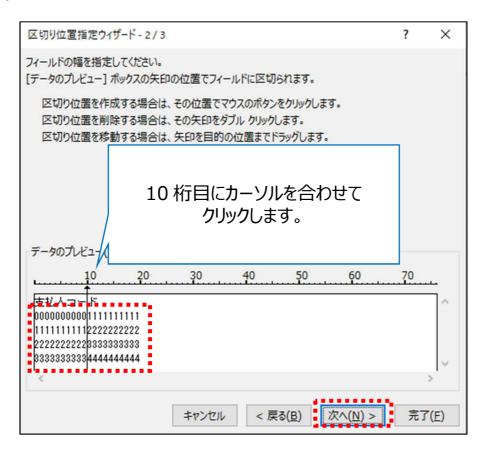
⑦L列「支払人コード」を選択し、「データ」の「区切り位置」を押下します。



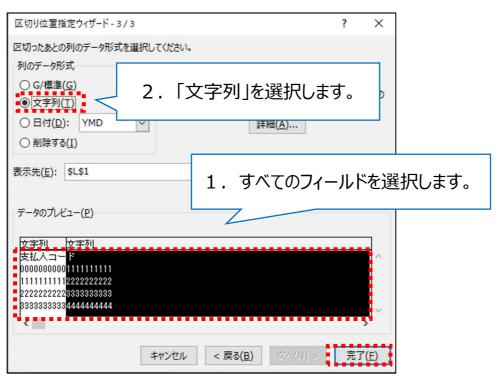
⑧「スペースによって右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ」を選択し、「次へ」ボタンを押下します。



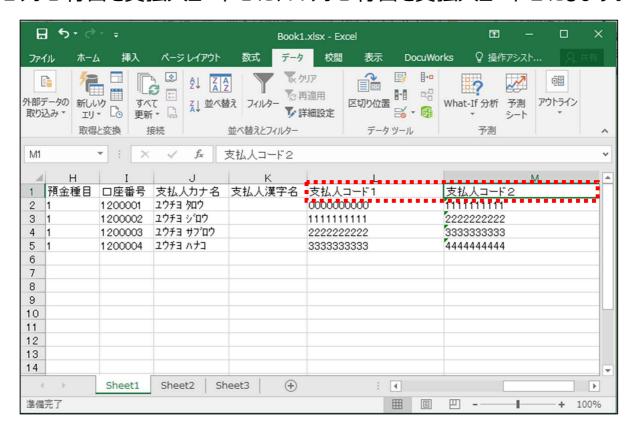
⑨データのプレビューの 10 桁目にカーソルを合わせてクリックし、「次へ」ボタンを押下します。



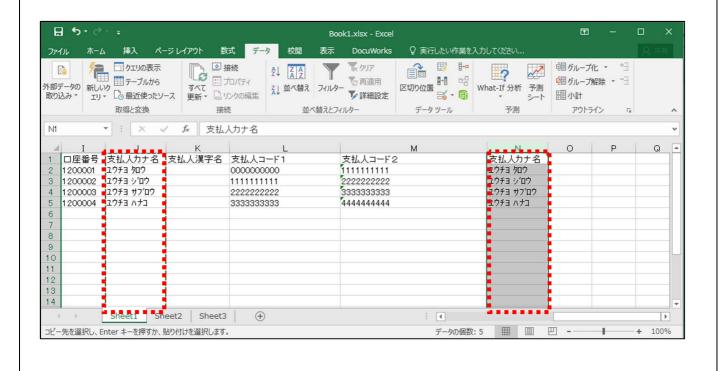
⑩データのプレビューのフィールドをすべて選択し、列のデータ形式の「文字列」を選択し、「完了」ボタンを押下します。



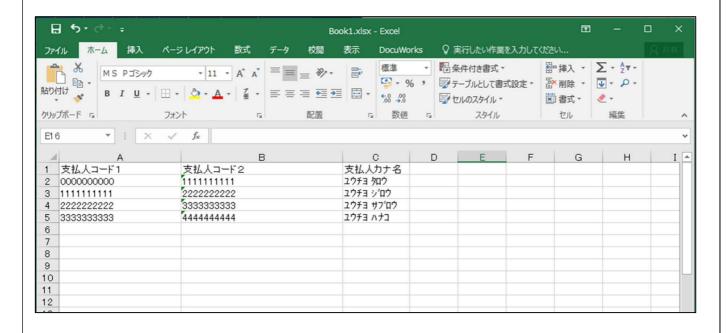
(I)L列1行目を支払人コード1に、M列1行目を支払人コード2にします。



迎]列(支払人カナ名)をコピーし、N列に貼り付けます。

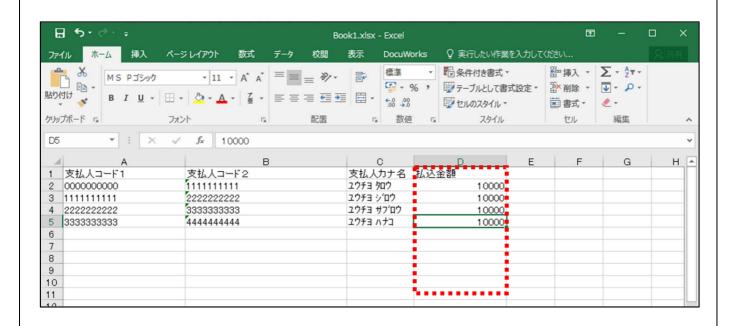


⑬A~K 列を削除します。(支払人コード1がA列になります)

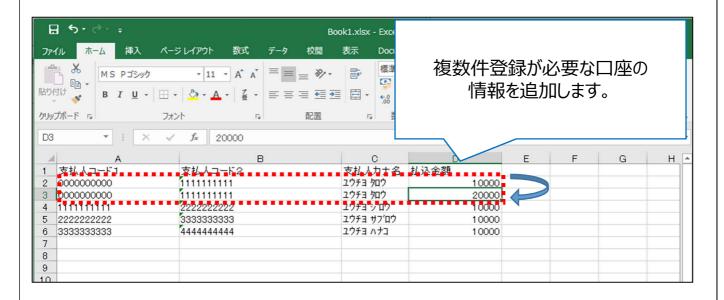


(4) D列に金額を入力します。

※「,」を入力しないでください。



- ⑤複数件の引き落としが必要な口座については、引き落としが必要な分だけ、 行を追加して金額を入力します。
 - ※支払人コードは、マスタに登録された支払人コードと同一のものを設定する必要があります。
 - ※支払人カナ名は、マスタに登録された支払人カナ名と完全一致する必要があります。 苗字と名前の間にスペースを入れて登録している場合は、スペースを含め一致するよう作成してください。
 - ※支払人コードを空欄とし、支払人カナ名と金額のみで登録することも可能ですが、同姓同名の支払人がいた場合、該当する口座すべてに金額情報が設定されますので、ご注意ください。

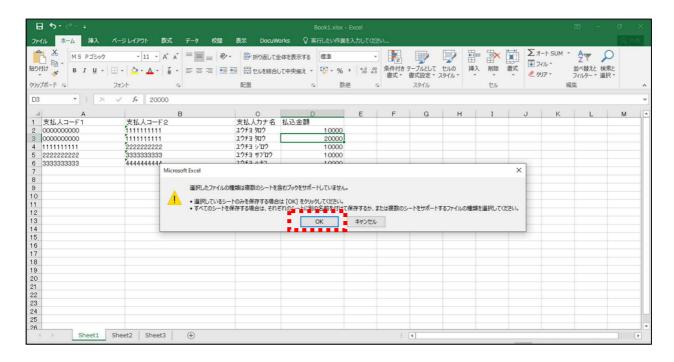


(16)「名前を付けて保存」で作成したファイルを保存します。

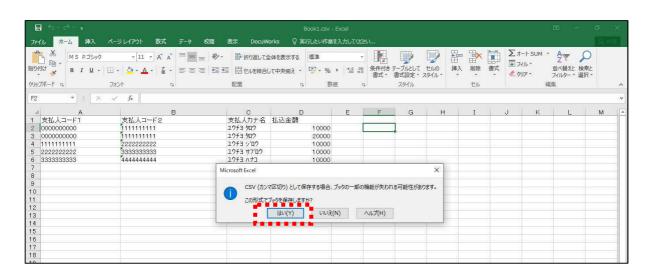
「ファイルの種類」を押下し、ファイル形式「.CSV」を選択し、任意の場所に保存します。



切以下のポップアップが表示された場合は、「OK」を押下してください。



⑱以下のポップアップが表示された場合は、「はい(Y)」を押下してください。



※CSV 形式で保存したファイルを開く際は、Excel が関連付けられた状態で、ダブルクリックで開かないようにご注意ください。

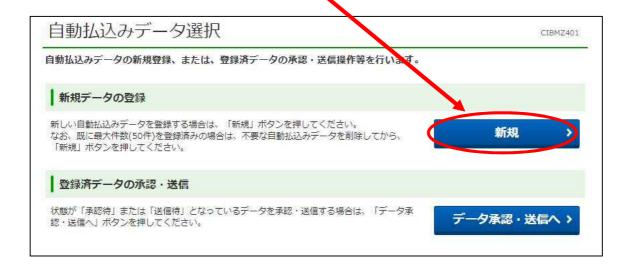
内容を簡単に確認したい場合は、以下の手順で確認してください。 右クリック→プログラムから開く(H)→メモ帳

3.4 決済データ登録用 CSV ファイルを登録する

①「自動払込みメニュー」画面でデータ登録ボタンを押下します。



②「自動払込みデータ選択」画面で新規ボタンを押下します。



③「委託者情報・払込指定日入力」画面で、提出データの委託者の選択、

日付等の必須項目を入力します。

払込みを行う支払人の検索条件を設定し、次へボタンを押下します。

※外部データ入力機能は、次ページで表示される支払人検索結果に登録ファイルのデータを追加します。 登録ファイルの情報のみを表示したい場合は、支払人マスタが登録されていない検索グループを選択 するなど、検索結果が1件も表示されない検索条件を指定してください。



④「支払人情報・払込金額入力」画面で、外部データ入力ボタンを押下します。



⑤「外部データ入力」画面で、ファイルの選択ボタンを押下し、2.2 で保存した、 CSV ファイルを選択します。ファイルパス名に正しいファイルが表示されていることを 確認し、アップロードボタンを押下します。

外部データ入力			CIBNZ407
自動払込みデータ選択	委託者情報・払込指定日入力	支払人情報・払込金額入力	登録完了確認
	Vファイルを指定してください。 る支払人コード1,2および支払人力	コナ名に該当する情報を支払人マス	.タから抽出し、支払人情
ファイルパス名 必須	ファイルの選択・支払人情報.csv		
⟨戻る	アップロ	コード)	

⑥「外部データ入力結果」画面で結果を確認し、次へボタンを押下します。

なお、本説明書どおりデータを作成した場合、必ず1行目(ヘッダ行)が エラー(桁数エラーまたは文字数エラー)となりますが、2行目以降の正常な データは問題なく取り込まれます。

- ※入力件数より登録処理件数が多い場合は、登録データで指定された条件が、複数の支払人マスタに合致し、複数の支払人情報が登録されています。 意図していない払込みが成立してしまう可能性があるため、不要な明細がないか、次の画面で確認してください。
- ※外部ファイルとして作成した CSV ファイルは、ゆうちょ銀行のサポート対象外です。 お客さまが作成された CSV ファイルについては、ゆうちょ銀行で内容の確認ができません。 「処理不能データの情報」に表示されている内容以上のことは分かりかねますので、外部データ入力の機能を利用する場合は、お客さまご自身でご確認をお願いいたします。



く代表的なエラー>

エラー	内容
文字チェックエラー	利用できない文字が含まれています。
該当データなし	支払人マスタに、条件に該当する支払人が登録されていません。
桁数エラー	ファイル仕様で指定された桁数でデータを作成してください。

⑦「支払人情報・払込金額入力」画面を確認し、登録完了ボタンを押下します。 兄弟分の引き落としが必要な口座については、引き落としが必要な分だけ金額が 設定されていることを確認します。

※払込金額が0円の支払人は登録完了時に削除できます。



⑧「登録完了確認」画面でデータの内容を確認し、「承認待」を選択して確認 ボタンを押下します。

※作成途中の場合は「作成中」を選択し、確認ボタンを押下することで一時保存ができます。

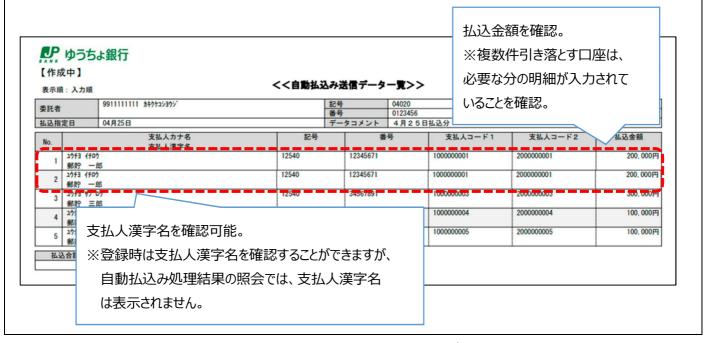


※確認ボタンを押下すると、「自動払込みデータ選択」画面に戻ります。

3.5 登録した決済データの内容を印刷して確認する



②登録した決済データの明細が PDF で出力されるので、印刷して確認します。



以降は、「簡易版操作説明書 J 自動払込み(ブラウザ受付)」のとおり承認・ 送信作業を行います。